

冬空のばら園で幻想的なひとときを過ごす



12月22日から25日まで、かのやばら園で「クリスマスファンタジーナイト2016」が開催されました。期間中は、花火&イルミネーションショーや缶ドルアート、電球で装飾したコーストレインの展示が行われたほか、ジャグリングショーやダンスショー、音楽ライブなど、多くのステイイベントも行われ、来場者は澄み切った冬空の下で、幻想的な夜のばら園を楽しんでいました。

冬の中心市街地を花火で彩る



12月24日、リナシティィかのやで「第7回冬華火inクリスマスフェスティバル2016」が開催されました。この日は、水辺ステージで音楽やダンスのライブ、ガレリアでは飲食ブースが立ち並びました。また、花火とレーザー光線によるショーでは、音楽に合わせたダイナミックな演出で、大勢の観客が歓声を上げるなど、会場内は興奮と感動が立ち込めていました。



12月26日、市役所で「市役所ロビーコンサート」が行われました。この日は、一昨年行われた国民文化祭をきっかけに、鹿屋の子どもたちと交流を続けている「高鈴」の二人が出演し、鹿屋女子高校や高隈中学校の生徒たちと、鹿屋で作詞作曲された歌を中心に5曲を披露。約200人の観客は、澄み切った歌声に感動の拍手を送っていました。

高隈の復興に向けて



12月25日、上高隈町の石くら倉庫前広場で、「たかくま元気おこし市場」が開催されました。これは昨年9月に台風16号の被害を受けた高隈地区の、復興に向けた取り組みの一環として初めて行われたもの。当日は、ミニSL列車の乗車イベントのほか、ポニーやヤギなどの小動物とのふれあい、高隈米や地元の新鮮野菜の販売などが行われ、大勢の来場者が訪れにぎわいました。

お菓子の家づくりを楽しむ



12月11日、上高隈町のカピックセンターと民族館で、世界各国のクリスマスイベントを体験する「世界のクリスマス」が開催されました。この日は、「お菓子の家づくり」をはじめ、世界の絵本を日本語と英語で読み聞かせするイベントやクイズラリーなどが行われ、親子連れなど約200人が参加しました。参加者は、一足早いクリスマスのイベントを笑顔で楽しんでいました。

おいしいジビエ料理に舌鼓！



12月6日、市内の飲食店で「ジビエナイト」が開催されました。ジビエとはフランス語で、狩猟で得た野生鳥獣の食肉を意味する言葉で、このイベントは、鳥獣被害の増加、猟師の減少が叫ばれる中で、ジビエの可能性を模索しよつと開催されたもの。プロの調理人による鹿や猪肉のフルコース料理に、参加した28人は舌鼓を打っていました。

楽しい音楽イベントを満喫



12月4日、輝北コミュニティセンターで、「音楽のひろば」が開催されました。当日は、鹿屋警察署員による寸劇の後、市内の津軽三味線演奏家と県警察音楽隊による演奏があり、観客は感動を味わい、満足な様子でした。

来シーズンの活躍を誓う



12月2日、本市出身でプロ野球阪神タイガースの内野手、大和選手が市役所を訪問しました。大和選手は「来シーズンから新たに挑戦する両打ちで結果を出し、シーズンを通して試合に出たい」と抱負を語っていました。

経済産業大臣表彰を受賞



12月9日、国の伝統的工芸品産業への貢献が認められ、平成28年度「伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰」を受賞した、陶芸家で県薩摩焼協同組合理事の岩田鉄山さんが市役所を訪問しました。

来訪

青年海外協力隊員が訪問



12月21日、青年海外協力隊として東ティモールへ派遣される、本市出身の下道真人さんが市役所を訪問しました。下道さんは理学療法士としての経験を生かし、現地でのリハビリの方法などの指導を行います。

オーケストラの優雅な演奏が響く



12月4日、市文化会館で「かのやオーケストラ第15回定期演奏会」が開催されました。この日演奏されたのは、ドヴォルザークの交響曲第8番など3曲。訪れた約300人の観客は、大隅半島唯一のオーケストラが奏でる優雅な演奏に盛大な拍手を送っていました。またアンコールでは、観客と一緒に「ふるさと」を歌い、会場は感動に包まれました。

米国での茶のPRに意気込み



12月8日、鹿屋市茶業振興会の西尾仁一さんと宮下祐一さんが市役所を訪問しました。これは、米国の日本大使館で行われるレセプションに、同会が「かのや深むし茶」を出展することに伴い、訪れたものです。

打楽器七重奏で九州大会へ



12月22日、県吹奏楽アンサンブルコンテスト小学校部門で金賞を獲得し、九州大会への出場が決まった、田崎小学校金管バンドの打楽器演奏メンバー7人が、関係者とともに市役所を訪問しました。